

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「あいあい」長崎時津校 4/4

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	パーテーションで仕切り、他者への配慮を行っている。	
	②	職員の配置数は適切である	2	2	今のところは、適切。現在の職員数に対しての利用予定を設定している。(1コマ3支援)	1つの枠に3支援入った場合、指導員が急遽休むと、支援が困難になる。(1～2名の増員を)
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	3	広さが刺激になるために、パーテーションを活用。着座の活動は、基本的にブース内で行う。	床は滑り転倒しやすく、建物の2階に位置し急な階段の昇降があり危険。(手すりは設置してある。昇降時には転落がないように注意を促す。)
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	1	支援終了後は、掃除を行い清潔な空間の提供を行っている。	床は滑り転倒しやすく、建物の2階に位置し急な階段の昇降があり危険。(手すりは設置してある。昇降時には転落がないように注意を促す。)
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	日々の支援においても、支援前には、その日の利用児童の計画を立て実行し、支援後には、評価を行い、改善し、次回の利用時に繋がるように努めている。	

適切な支援の提供	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	3		7月開所のために、今回の評価が初めて。今後の業務改善に繋がられるように実践していく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	3		7月開所のために、今回の評価が初めて。今後の業務改善に繋がられるように実践し、ホームページや会報等で公開していく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4		第三者委員会の設置ができていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	エリア、発達研究所の研修年間スケジュールに沿って研修が行われており、資質の向上に努めている。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	アセスメントをもとに、計画書の原案を作成。現作成後は、事業所内で原案の内容を話しあい、保護や、子供のニーズ及び子供に合う本計画書の作成を行う。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	会社独自のアセスメント用紙を活用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	ガイドラインに基づき、子供に必要な支援内容が具体的に設定されるように計画書の作成に努める。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	本計画書に沿った支援を基本として、支	

				援の提供を行 っていく。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	活動プログラムを職員同士で話し合い、検討して、プログラムを立てている。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	活動プログラムが、固定化しないように、支援後の振り返りなどを行い、情報を共有し固定化しないプログラム提供に努めている。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	0	4		個別活動のみだが、集団活動へ参加できるようになるための支援内容も盛り込んでいく。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	朝礼や支援前には職員間で、その日の利用者の情報を共有しながら、支援の内容や役割分担を決めている。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	支援終了後や夕礼時に、支援の振り返りや気づきを共有し、次回の支援に繋がられるように努めている。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	支援記録は、支援終了後に記録を取ることを基本としているが、支援が最終時間の時は、翌日	

				に記録を取る ように心が け、支援の検 証、改善に繋 がるように努 めている。		
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	基本半年に1回のモニタリングの実施を行うが、計画の見直しが必要な時には適宜モニタリングを行い、計画書の見直しに努めていく。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	児発管及び子供に精通した職員が参加。	児発管のみでなく、実際にあたっている指導員も参画すべき。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	3		まだ連携が取れていない。今後は、訪問を行い連携がとりやすい関係づくりを築き上げる。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				医療ケア児童の受け入れなし。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				医療ケア児童の受け入れなし。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3		7月開所のために、移行支援としての連携はできていない。今後は、支援内容の共有等を行いながら相互理解が図れる関係性づくりを行っていく。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3		7月開所のために、移行支援としての連携はできていない。今後は、支援内容の共有等を行いながら相互理解が図れる関係性づくりを行っていく。

	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3		利用開始時には、情報の共有等を行っているが、助言や研修を受けたことはない。今後は他事業所や発達支援センター等との関わりが密になれるように努め行く。
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4		まだ外部との交流がないので、今後は交流を深める活動を行っていく。
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2	開所時に自立支援協議会への参加申し込みを行い参加している。	
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	送迎時に、支援の内容や状況、自宅での様子などの意見交換を行い、共通理解を深めている。	
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	0	4		職員数や障がいに応じた専門職の配置ができていないために、子供たちの支援のみである。専門職の入職を対応を行いペアトレの支援ができる環境を整えていく。
保護者への説明責任等	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時に、重要事項説明書において、運営規定、利用者負担額等の説明を行っている。	
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	ガイドラインを基本に、個別支援計画を作成し、保護者への説明を行い、同意を得たうえでサインを頂いている。（保護	

				者より計画の見直しの提案があったときには、速やかに対応し計画書の見直しを行っていく。)	
③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	送迎時、悩み等の相談等があったときには、誰もが適切に対応できるように、全ての利用者の把握に努めるようにしている。	
③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4		まだ保護者会等の開催ができていない。今後開催していく。
③6	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	こども、保護者からの相談の申し入れがあったときに、誰もが適切に対応できるように、全ての利用者の把握に努めるようにしている。	
③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2	都度、ラインや電話にて情報を発信。ブログも月2回の更新を行っている。	送迎時の申し送りやブログの写真等で代用。
③8	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	鍵付き書庫にて書類の保管を行っている。また、関係機関へ情報の提供を行うときは、保護	

				者へ書類の提供の必要性を説明し、保護者の同意のもと関係機関へ提供するように努めている。		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	専門用語等は使わずに、わかりやすく情報の伝達ができるように努める。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4		まだできていないので、積極的に地域とのかかわりができる活動を行っていく。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1	アニュアルを作成し、職員への周知・訓練はできている。	マニュアルはあるが、訓練も子供と合同の訓練ができていない。また、保護者への周知もできていないので、今後は子供と合同の訓練を実施しながら、保護者への周知を行っていく。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	年間の防災訓練計画を立て、月1回の避難訓練等を行っている。	子供との合同訓練ができていないので、子供との合同訓練の実施を行っていく。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	アセスメント時に、服薬の有無、てんかん発作等の聞き取りを行い、情報共有を行っている。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	4		アセスメント時に、アレルギー有無の確認を行い職員間での情報の共有は行っているが、医師との連携はできていない
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	ヒヤリハットの気づきがあったときは、	

				その都度、ヒヤリハット報告書を記入、情報共有し改善に努めている。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	月1回、エリア内での虐待防止研修会が行われている。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	身体拘束に関しても、上記(46)で記載したように研修会がある。やむを得ず身体拘束を行うかについては、逼迫性、非代替性、一時性があるのかチェックリストを用いて検討し、対応が必要な場合は、保護者との面談を行い了承のもと計画書へ落とし込んでいく。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名： こどもサポート教室「あいあい」長崎時津 校      保護者等数（児童数） 5：5   回収数： 8   割合： 80 %（4/5）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2	1	0	1	今後、リハビリの先生とも関わられたらいいなと思っている。	専門職（PT、OT、ST）等の求人をかけ、専門職の配置に努めていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	1	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	0	0	とても清潔感がある。絨毯カーペットなので掃除が大変なのにきれいに保たれており安心ばかりか、気持ちよく過ごせていると思う。	今後も、環境整備を心掛け、清潔感が保てるように心がけていきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	0	0	1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	0	0	1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1	0	0	3		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	0	3		

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1	0	1	2	保護者への気がけもとてもよくしてくれる。	今後、家族支援がしっかり行えるように、人員の配置などを整え、ペアレントトレーニング等の支援ができるように努めていく。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	0	0	1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	1	2		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4	0	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	0	0	2		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3	0	0	1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1	0	0	3		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	0	0	3		
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3	0	0	1		

満足度	㊸	事業所の支援に満足しているか	4	0	0	0		
-----	---	----------------	---	---	---	---	--	--

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。